

中央・西部・東部図書館及び生涯学習ルーム「まなび南郷」内部評価結果
(施設所管課による評価)

【評価対象施設】中央・西部・東部図書館・生涯学習ルーム「まなび南郷」

【指定管理者名】株式会社 図書館流通センター

【評価対象年度】令和7年度

【施設所管課名】産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

条例・協定書に基づき、適正に管理・運営を行っています。

今年度の3館全体の1日あたりの貸出件数及び貸出冊数の対前年度比については、概ね前年並みもしくは減少（貸出件数：△0.4%、貸出冊数：△3.8%）となった一方、3館全体の1日あたりの来館者数は前年度比で増加（+1.3%）となりました。これは、様々な年齢層やターゲットを対象とした講座やイベント開催、図書館だよりやLINE、InstagramといったSNS等による情報発信や展示の工夫といった来館のきっかけづくりや利用者がより深く図書に関心を持つ取組み、また育児コンシェルジュやBOOKCAFEをはじめとする利用者が快適に滞在できる環境を整える取組み等が相まった成果であると考えます。利用者にとって居心地がよい空間づくりを常に考え、図書館が「市民の居場所」となるべく取り組んでいる図書館の努力を評価します。

イベント・事業に関しては、3館の特色を生かすとともに市内の活動団体や併設施設等とも連携し、様々な対象者に向けて実施し、多くの参加者と高い評価を受けています。第10回となった「図書館を使った調べる学習コンクール」においては、図書館職員の丁寧な出前講座や高いレファレンス力等に支えられ、1,562人の作品の応募があり、37人の入賞者表彰、うち25作品が全国コンクールへ応募、3作品が奨励賞を受賞するという誇らしい成果を収めました。図書館の取組みにより、今後も継続的に市民のまなびが広がっていくことを期待しています。

電子図書館については、市内公立小学校での積極的な利用にも支えられ、前年度と比べて貸出件数が増加（+5.9%）しました。令和7年度より導入した読み放題パックにより閲覧回数が+68.6%と大幅に増加しました。今後も多くの方に利用いただけるよう、利用ガイダンスやPR、利用促進につながる企画等に引き続き取り組んでください。

まなび南郷については、地域の生涯学習の拠点として、また放課後の居場所づくりをはじめとした子ども向けの取組み等により、概ね前年度並みの新規登録団体数（△2件）を確保し、使用率は前年度と比べて増加（+2.1%）するなど安定した施設運営を行いました。バラエティに富んだ生涯学習活動が広がるよう、利用促進の取組みや新規利用団体の開拓等を引き続きお願いします。

利用者満足度について評価

前年度に引き続き Web アンケートとし、PC やスマートフォンを利用されない方に対しては、図書館のタブレットを使用した対面での聞き取りにより実施されました。また広報だいに二次元コードを掲載し、非来館者に対するアンケートも行い前年度を上回る回答数を得ました。これらの取組みは、少しでも多くの方の声をより良い図書館運営に反映させたいという強い思いが表れた意欲的な行動であると評価します。結果についても「スタッフの接客態度、対応の早さ・的確さ」に対する満足度 89.9%、「館内や本棚の案内表示の分かりやすさ」に対する満足度 73.6%と、高い満足度を得ています。様々な研修に参加される等職員の資質向上に積極的に取組まれるとともに、利用者の様々な声を日常的なミーティング等により情報共有されることにより、利用者目線での対応と図書館サービスの質の向上に取組まれている結果と高く評価しています。自由記述でいただいた意見、市民ニーズを丁寧に検討し、より質の高いサービス提供につながるような改善に引き続き努めてください。

収支状況について評価

図書館は利用料収入がない中、創意工夫で支出を抑え、事業内容の充実に取り組まれたことを評価しています。デマンド監視装置による日常的なモニタリングと、政府の電気料金負担軽減支援事業による電気料金の削減効果により光熱費の支出を削減することができました。収入について、西部図書館の来館者増とまなび南郷の利用拡大効果もあり駐車場料金収入が増加しました。自主事業で導入した西部図書館のカフェ自動販売機については、利用者の快適な読書環境づくりという面のみならず、貴重な収入源となっています。引き続き、合理的な節減に努めながら、サービス向上、利用人数・利用率向上に向けた施設運営を期待します。

総合評価

図書館運営について、利用者の増加、サービス向上に向けて 3 館で連携し、それぞれの館の特色を生かしながら切磋琢磨し、常に創意工夫されていることを高く評価しています。

図書館は、本市における生涯学習施設の中でも年間 40 万人を超える人が利用する主要な施設のひとつであり、市民の暮らしに不可欠な施設です。コロナ禍以降、市民の生活様式の変化もあり、これからの図書館は調査研究・学習の拠点として資料の充実を図るとともに、利用される方のニーズや社会の要請に応えるためのサービスの充実が求められていると考えます。今後も、専門的知識を活かした効果的な知識・情報の提供とともに、様々な機関・施設・団体との連携により、図書館の付加価値を高める魅力あるサービス提供に努めてください。令和 8 年度からの市長部局への移管を機に、より幅広い施策や施設、主体との連携を強化することで、市民の多様化するニーズやライフスタイルに対応した、人と人をつなげていく、より魅力的な図書館への発展を期待します。また、民間事業者のノウハウとネットワークを活用し、新規利用者の拡大に努めるとともに、様々な利用者の居場所として、誰もが気軽に利用でき、何度でも訪れたくなる図書館となるような企画・運営をお願いします。

「まなび南郷」については、利便性と快適性を高める工夫や施設の魅力を積極的に発信し、営利利用も含めた新たな利用者の開拓を進めるとともに、様々な団体の活動を育む場、地域の交流の場、そして図書館と連携した市民のまなびの拠点となるような施設運営を引き続きお願いします。